GG　狛江市議会だより

一般質問 用語解説

過去の用語解説（No.243まで）

	用語	内容
#	**＃７１１９**	急な病気やけがをした場合に、「今すぐ病院に行ったほうがいいのか」、「救急車を呼んだほうがいいのか」など迷った際に専門家からアドバイスを受けることができる相談窓口。
123	**４Ｒ**	Refuse（リフューズ）、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の頭文字をとった、ごみ減量への取組のキーワード。リフューズは、ごみになるものを買わない、断ることを指す。
ABC	**ＡＢＡ**	Applied Behavior Analysisの略で、応用行動分析を指す。人間の行動を個人と環境の相互作用の枠組みの中で分析し、実社会の諸問題の解決に応用していく理論と実践の体系。
	ＡＣＰ	Advance Care Planningの略称。将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取組のこと。
	ＡＥＤ ＧＯ	救急車より早く、救命ボランティアがAEDを持って、心肺停止発生現場に急行するAED運搬システム。119番通報先の消防指令センターと連携して運用することを前提として構築されている。
	ＡＩ―ＯＣＲ	Artificial Intelligence-Optical Character Recognitionの略称。 AI技術とOCR技術を掛け合わせることで、帳票の読み取り精度の向上や手書きの文字列・非定型フォーマット文書の認識を可能とした。
	ＡＩドリル	人工知能技術を活用した学習支援ツール。生徒１人ひとりの学習データを分析し、理解度に応じて最適な問題を提供することが可能。
	ＡＲ	Augmented Realityの略。仮想空間の情報やコンテンツを現実世界に重ね合わせて表示することなどにより、現実を拡張する技術や仕組み。拡張現実。 例）スマートフォンの位置情報を使ったゲーム。
	ＡＹＡ世代	Adolescent and Young Adult(思春期・若年世代）の頭文字をとったもので、主に思春期（15歳～）から30歳代までの世代を指す。

用語	内容
ＢＣＰ	Business Continuity Planの略称で、事業継続計画を指す。自然災害や事件などの緊急事態が起きた際に、企業や公共機関が持つ資産への被害を最小限に食い止めること及び中核事業を継続させることを目的とし、いち早く事業全体を復旧させるためのさまざまな対策・方法をまとめた計画のこと。
ＢＰＲ	Business Process Re-engineeringの略。プロセスの観点から業務フローや組織構造、情報システムなどを再構築し、業務改革することを意味する。
ＣＳＩＲＴ（シーサート）	Computer Security Incident Response Teamの略称。コンピューターやネットワーク上で何らかの問題が起きてないかどうか監視すると共に、万が一問題が発生した場合に、原因解析や影響範囲の調査を行う組織。
ＣＳＷ	コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの略。社会福祉協議会が配置。困りごとや福祉課題を関係機関等と連携・協力し解決する調整役を担う。
ＤＭＡＴ（ディーマット）	災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team)の略。災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム。
ＤＸ	デジタルトランスフォーメーション。2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授によって提唱された概念。その内容は「進化し続けるテクノロジーが人々の生活を豊かにしていく」というもの言い換えると、“進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること”をいう。
ＥＴＣ２．０	従来のETCによる自動料金収受機能に加えて、道路（路側機）と車両が双方に通信を行うことで、より広範囲の道路情報や渋滞迂回ルートの案内や事故多発地点での注意喚起などの多様なサービスを提供する次世代型システム。
ｅスポーツ	エレクトロニック・スポーツの略。電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉。コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技としてとらえる際の名称。
ＧＨＰ	ガスエンジンを動力源としたヒートポンプ式の空調システムのこと。節電・防災の視点から学校等施設に導入されている。
ＧＩＧＡスクール	GIGAスクール構想。2019年に開始された、全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取組。

用語	内容
ＧＸ	Green Transformationの略称。化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のこと。
ＩＰＳ（援助付き雇用）	Individual Placement and Supportの略。精神疾患を持つ人々が一般の職場に就職できるように個別でサポートする就労支援プログラム。
ＪＶ	Joint Venture。建設業における共同企業体。資金力・技術力・労働力などから見て、一企業では請け負うことができない大規模な工事・事業を複数の企業が協力して請け負う事業組織体を指す。
ＫＤＢシステム	国保データベースシステム。国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、国保連合会が「健診・保健指導」、「医療」、「介護」の各種データを利活用して、①「統計情報」・②「個人の健康に関するデータ」を作成するシステムをいう。
ＭａａＳ	Mobility as a Serviseの略。複数の公共交通やその他移動サービスを組み合わせて検索・予約・決裁等をまとめて行うサービス。公共交通の利便性向上や都市部での渋滞解消等が目的とされる。
ＰＦＡＳ	PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)及びPFOA(ペルフルオロオクタン酸)を含む有機フッ素化合物の総称
ＰＦＨｘＳ	ペルフルオロヘキサンスルホン酸の略で、水や油をはじき、熱に強い有機フッ素化合物（PFAS）の一種。日本国内では令和６年五第一種特定化学物質に指定。
ＲＰＡ	Robotic Process Automationの略称。事業所内の事務作業や定型業務などを効率化するソフトウェアロボット。
ＴＯＫＹＯスマホサポーター	日常的にスマホを使用する方が、サポーターとして登録し、デジタルに不慣れな方の支援を行うことで、身近な地域での支えあいにつなげる東京都の取組。
ＶＭＶ	Vision Mission Valueの略。組織の将来像、社会に対する使命や価値、行動指針等を指す。
ＶＲ	Virtual Realityの略。コンピューターによって創り出された仮想的な空間などを現実であるかのように疑似体験できる仕組み。仮想現実。 例）ヘッドマウントディスプレイを利用したもの。
ＺＥＢ	Zero Energy Building。建物の運用段階でのエネルギー消費量を、省エネや再生可能エネルギーの利用をとおして削減し、限りなくゼロにするという考え方。

あ

用語	内容
アップサイクル	捨てられるはずのものに対して元よりも価値の高い新たな製品を生み出すこと。
アドプト制度	市が実施していた道路や公園等公共施設の一部区域の維持管理を、市民団体や企業等が「里親」となり、「養子」となった施設の一部の維持管理を実施していく制度。
アレチウリ	北アメリカ原産のツル性植物。つるを伸ばして河原を覆うように繁茂する。そのため、他の植物に届く光を遮ってその生育を阻害し、従来の生態系に悪影響を及ぼす。狛江市内の多摩川でも増えており、爆発的な繁殖力で河川敷を覆い、オギ（荻）原や樹木などを枯らしてしまう。
医療的ケア児	医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。
インシデントレスポンス	ウイルス感染、不正アクセス、情報漏えいなどのセキュリティを脅かしている事業に対して、原因の調査、対応策の検討、サービスの復旧などを適切に行うこと。
インクルーシブ	「包括的な」「包み込むような」という意味から、障がいの有無や性別、国籍、年齢など多様な背景を持つ人々を分け隔てなく受け入れ、活躍できるような環境を表す。
ウェルビーイング	身体的、精神的、社会的にすべてが満たされた状態、生きがいや人生の意義など持続的な幸福を含む概念。
ウォーターＰＰＰ	PPP（Public-Private Partnership）の略。水道・下水道などの分野において、業務の一本化や長期契約により民間のノウハウ等の有効な活用を期待できる官民連携の手法の一つ。
エイジハラスメント	年齢や世代が違うことを理由にした差別的な言動や嫌がらせのこと。
エシカル消費	消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。
エッセンシャルワーカー	人々の基本的な生活やインフラなどの維持に、必要不可欠な職種の従事者。医療従事者や介護福祉士のほか、食料品販売員、運送業者、消防官などさまざまな職種を指す。
オープンデータ	誰でも許可されたルールの範囲内で自由に複製・加工や頒布などができるデータ。
オーバードーズ	薬を使うときの一回あたりの用量（dose）が過剰である（over）こと、または薬物の過量摂取に及ぶ行為。健康被害が起きたり、依存症になってやめられなくなる場合がある。

用語	内容
オストメイト対応トイレ	オストメイトとは『ストーマ』といわれる人工肛門や人工膀胱(ぼうこう)保有者の方を指している。排せつ物等の処理をしやすい機能を備えたトイレとして公共施設を中心に整備が進んでいる。
オブスタクルスポーツ	「走る」「跳ぶ」「登る」などの各障害物をクリアーする様々な運動を通じ、肉体的・精神的な可能性にチャレンジするスポーツ。近代五種競技では、馬術に代わる新種目として、2024年パリ五輪以降の正式種目として採用予定。
オンデマンド交通	利用者の予約に応じて運行ルートや時間が柔軟に変化する乗り合いの交通サービス。
カーボンオフセット	温室効果ガスの排出について、削減しきれなかった分を、他の形で埋め合わせようとする試み。対してカーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量を、吸収量と差し引いてゼロにしようという考え方。
書かない窓口	市民課における「転入」「転出」等の住民異動に関する手続きにおいて、マイナンバーカード等の読み込みや聞き取り内容を職員が入力することで、手書きによる各種届出作成の手間を省略するもの。
気象防災アドバイザー	地域の気象現象に精通し防災の知識も持っており、自治体の防災対応も支援できる国土交通省より委嘱された専門家。
キタコンＤＸ	「東京都帰宅困難者対策オペレーションシステム」の通称。首都直下地震等の発災時に、帰宅困難者に対しての情報発信や被災情報の可視化する機能等をもつ。
キャプチャ機能	セキュリティ向上のための画像認証機能。フォームのスパム対策として、広く使われている。
きょうだい児	病気や障がいのある兄弟姉妹を持つ子どものこと。
クーリングシェルター	冷房が効いた部屋を開放し、暑さをしのぎ熱中症などの対策に役立てる施設。
グリーンスローモビリティ	時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。導入により、地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。
ケアラー	介護や看病、療育が必要な家族や近親者を無償でサポートする人。
ゲノム編集食品	遺伝子を効率的に改変するゲノム編集技術を農作物等の育種(品種改良)に応用した食品。
権利擁護	高齢者や障がい者など、自らの意思表明や権利行使が困難な人々を支え、その人らしい尊厳ある生活が送れるように支援する制度
コグトレ	認知機能に着目した包括的支援プログラム。

	用語	内容
	こども誰でも通園制度	子どもの成長と子育て環境の支援を目的とし、保護者の就労要件を問わず、未就園児が月一定時間まで保育所などを利用できる制度。令和８年度実施予定。
	コマラジ	狛江ラジオ放送株式会社。2019年（令和元年）11月に開局したコミュニティラジオ（周波数は85.7MHz）。狛江市と狛江ラジオ放送株式会社間で「災害時等における情報の放送に関する協定」を締結している。
	こまえみらいテラス	令和７年11月（予定）にリニューアルオープンする市民センターの新名称。
	こまなび	市民等の生涯学習活動を推進するために団体の活動情報を取りまとめたガイドブック。令和６年度で電子版含むサービスが終了。
	コマエ・デザイナーズ・ラボ	行政活動にデザインの視点を取り入れるために、市ゆかりのクリエイター等に市の事業等に参画していただくためのネットワーク（枠組み）。
	こまポ	狛江市の地域ポイントサービス。地域のイベントや活動に参加するとポイントが貯まり、市内加盟店等で利用可能。
	コミュニティ・スクール	学校運営協議会制度。地域住民や保護者などが学校運営に参画し、地域と学校が一体となり特色のある学校づくりを進めていく制度。
さ	**サードプレース**	自宅や学校、職場とは別の居心地のいい居場所の事。
	サウンディング調査	市有地などの活用方法について、公募により民間事業者から広く意見や提案を求め、事業への有用な意見やアイデアを収集することを目的とした、民間事業者と市との直接の意見交換による調査。
	産後ドゥーラ	産前・産後の女性に寄り添い、家事や育児などさまざまなサポートをする専門家。ドゥーラとは、古いギリシャ語で「ほかの女性を助ける経験豊かな女性」という意味。
	シェアサイクル	相互利用可能な複数のサイクルポートが設置された、面的な都市交通に供されるシステム。（国土交通省都市局による地方公共団体に対する調査における定義）
	自治体窓口ＤＸＳａａＳ	役所の窓口手続きの書面記入や待ち時間の負担を減らすためのサービス構築に向けて複数のシステム事業者からSaaS（インターネット経由で利用できるソフトウェア）として提供してもらい、自治体が理想の窓口の姿に合わせたソフトウェアを選択できるデジタル庁主導のサービス。
	シビチャット(civichat)	自分が利用できる制度がLINEでわかるサービス。Civichatを使えば、チャットボットの質問に答えていくだけで自分に合った制度を見つけることができる。

用語	内容
重層的支援体制整備事業	子ども・障がい・高齢・生活困窮などの分野別の支援体制では対応しきれない課題に対して、分野を横断し包括的な支援体制を整備する事業。
樹冠被覆率	土地の面積に対して、樹木の枝葉が茂っている部分（樹冠）がどれだけ覆っているかを示す割合。大気汚染物質の除去等の効果や路面温度の上昇を防ぎ、熱中症を予防するなどの効果が期待される。
小１の壁	子どもの小学校入学と同時に親の就労の両立がしづらく、仕事と家庭の両立が困難になること。
暑熱順化	体が暑さに慣れること。次第に暑さに慣れることで汗が出やすく、熱が逃げ体温が上昇しにくい体質になり、暑さに強くなる。
所有者不明土地	相続登記がされていないこと等により、不動産登記簿を参照しても、所有者が直ちに判明しない又は所有者が判明しても連絡が付かない土地のこと。
償還払い	介護サービスや医療サービスにおいて、利用者がサービス利用時に一度全額を支払い、後日、市町村に対し支給分を請求すること。
ジョブボン	「JOB（仕事）」と「本」を組み合わせた造語で、読み終わった本を障がい者就労支援施設で再生し、ネット通販する活動。
情報リテラシー	情報を適切に読み解き、発信できる能力のこと。
シルバーパス	都内在住の70歳以上の方が、都営交通や都内民営バスを利用できる割引乗車券。年間1,000円または20,510円（所得による）で利用可能。
水素エネルギー	水素を酸化・燃焼させることによって発生するエネルギーを利用。燃焼時にCO２を排出しないという特徴から、環境にやさしい次世代エネルギーとして期待されている。
水道道路	調布都市計画道路３・４・２号線
スクールロイヤー	学校・教育委員会・学校法人に対して、学校で発生するいじめ・不登校・学校事故などさまざまな問題について助言・アドバイスをする弁護士。
ステラーダイカイギュウ	18世紀に絶滅した海牛目（ジュゴン目）の哺乳類。多摩川で世界最古のステラーダイカイギュウの化石が平成18年に発見されている。愛称コマギュウ。
スポットビジョンスクリーナー	弱視の危険因子となる斜視および屈折異常(近視、遠視、乱視、不同視)を僅か数秒でスクリーニングできる機器。
スポ協	NPO法人狛江市スポーツ協会の略。令和６年４月１日より狛江市体育協会から狛江市スポーツ協会へ名称が変更になった。

	用語	内容
	スマートウェルネスシティ	住む人が自然と健幸になる街（歩きやすい歩道や、きれいな景観があれば自然と歩くことになり、健康的な生活ができるようになる）。
	スマートシティ	ICTの活用により、あらゆる面で最適化された運営都市を指す。
	セットバック	土地の境界線から一定の間隔を確保し、建物を建てること。
	節薬バッグ	「節薬バッグ」と名付けられたエコバッグを患者に配布し、飲み忘れなどにより自宅に残っている薬を全て入れて薬局に持参してもらう取組。
	ゼロトラスト	境界型セキュリティに代わる新しい概念で、脅威の侵入、感染を前提にしているセキュリティ概念。
	ゼロカーボンシティ	2050年にCO2（二酸化炭素）を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として表明した地方自治体のこと。狛江市は令和３年３月にゼロカーボンシティを目指すことを表明。
	ソーシャルミックス	年齢、職業、所得水準などが異なる人々が同じ地域で交流して暮らせるようにすること。
た	**デートＤＶ**	恋人などの交際相手から振るわれる暴力を指す。身体的な暴力だけでなく、精神的、性的、経済的な暴力なども含む。
	デジタルデバイド	コンピュータやインターネットなどの情報技術（IT：Information Technology）を利用したり使いこなしたりできる人と、そうでない人の間に生じる、貧富や機会、社会的地位などの格差。 個人や集団の間に生じる格差と、地域間や国家間で生じる格差がある。
	デジタルシチズンシップ教育	「情報技術の利用における適切で責任ある行動規範」を指す。 テクノロジーに関する倫理的・文化的・社会的問題を理解し、責任を持って、かつポジティブにそれを利用するための規範である。
	デジポリス	警視庁が提供する無料の公式防犯アプリ。特殊詐欺等に多く使用される国際電話番号のブロック機能や、痴漢撃退機能、防犯ブザー機能、各種防犯情報の閲覧等が可能。
	デマンド交通	バスや電車などのようにあらかじめ決まった時間に決まった停留所を回るのではなく、予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎する乗合の交通サービスのこと。規則正しく運行されている公共交通機関と異なり、利用者が自分から連絡する必要がある。※狛江市では令和8年10月より実証運行が開始

	用語	内容
	トイレトレーラー	災害時を想定して製造された新しいタイプの移動設置型のトイレ。最大の強みである機動力を生かして、けん引車でどこにでも設置ができ、給水タンク・汚水タンクを備えているため到着後すぐに使用することが可能。
	東京グローバル・ゲートウェイ	東京都教育委員会と㈱TOKYO GLOBAL GATEWAYが運営する体験型英語学習施設。
	トークナビ	赤外線センサーで人を検知してメッセージを伝える音声案内機。
	特養ホーム	特別養護老人ホーム。常時介護が必要で家庭での生活が困難な場合に入所する施設。原則要介護３以上の認定を受けている方が対象。
な	**なごみマフ**	「認知症マフ」とも呼ばれている、筒状のニット製品。イギリスでは認知症の方の落ち着かない手を穏やかに暖かく保ち、またマフについているボタンやリボンなどに触れることで触覚や視覚といった感覚を用いたケアの実践などに活用されている。
	ナッジ理論	直訳では「軽くつつく、そっと後押しをする」という意味。規制や制度などの外部からの行動の強制をせずに人の行動を自然に促す行動経済学の理論。
	二の橋通り商店会	喜多見駅南側、世田谷区から市境をまたいで狛江市に入ったところにある商店会。
	日本版ＤＢＳ	12月施行予定の「こども性暴力防止法」に基づき、子どもに接する仕事に就く人に性犯罪の有無を確認する制度。イギリスのＤＢＳ（犯罪歴証明制度）を参考にし、日本の法制度に合わせて制度設計を行ったことから日本版ＤＢＳと呼ぶ。
	妊孕(にんよう)性(せい)温存療法	がん治療の影響で生殖機能が低下、喪失する前に卵子や精子などを採取、冷凍保存する方法。
	農家レストラン	農業を営む者が食品衛生法(昭和22年法律第233号)に基づき、都道府県知事の許可を得て、不特定の者に、自ら生産した農産物や地域の食材を用いた料理を提供し、代金を得ているもの。
	ノルディック・ウォーキング	2本のポールを使って歩行運動を補助し、運動効果をより増強するフィットネスエクササイズの一種である。
は	**バーチャルツーリズム**	ICT技術を活用して実在する観光目的地へ仮想的に到達し、関係者との相互作用を通して観光経験が得られる形態の観光。
	バーチャルラーニングプラットフォ	日本語指導が必要な子どもや不登校の子どもたちの居場所・学びの場として、東京都教育委員会が構築したオンライン上の3D仮想空間。

用語	内容
パートナーシップ制度	国や自治体が同性のカップルを「結婚に相当する関係」と認める制度のこと。同性パートナーシップ制度ともよばれる。
パークＰＦＩ	都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を公募により選定する手続き。
パーキングパーミット制度	障がいのある方や要介護高齢者、妊産婦の方など歩行が困難な方や移動の際に配慮が必要な方のための駐車区画について、対象者に利用証を交付することで、区画の適正利用を推進する制度。
パトラン	安心で暮らしやすい社会を実現することを目指して、防犯パトロールとランニングを同時に行う「新しいスタイル」の防犯活動。
ハブ	中心・中核・拠点を指す言葉から、ＩＴ機器、航空、ビジネスにおいて「中継地点」「中心となる場所」を指す。
ハラール	イスラム教で「許されたもの」を意味する。食事においては豚やアルコールなど、食べることを禁じられている食材を除く、イスラム法の手順に沿った処理を行うなどしたものを指す。
ハルシネーション	生成AIの分野で人工知能が事実にもとづかない情報や、実際には存在しない情報を生成する現象を指す。これはAIが、学習したデータのパターンにもとづいて新しい情報を生成するという仕組みに起因する。この課題を解決するためには、AIの学習データの質の向上やモデルの改善が必要となる。
犯罪機会論	犯罪者に犯罪の機会を与えないことによって、犯罪を未然に防止しようという考え方。犯罪者を減らすという視点で考えるのではなく、犯罪企図者が犯罪を起こしにくい環境を整備することで犯罪を減らすという対処法。
ハンディキャブ事業	車イスのまま乗車できる車両を使用して、バスやタクシーなどの公共交通機関を利用する事が困難な高齢者や障がいのある方々の移動の支援を行うサービス。
被災建築物応急危険度判定員	東京防災ボランティア制度に基づき、災害時にボランティアとして協力が可能な民間建築士により登録された専門員。被災した建築物を外観調査し、倒壊や付属設備の転倒などの危険性の判定を行う。
ファミサポ	ファミリー・サポート・センター事業。子育てのお手伝いをしてほしい方とお手伝いが可能な方がそれぞれ会員となり、地域での助け合いを行う事業
フェーズフリー	身のまわりにあるモノやサービスを、日常時はもちろん、非常時にも役立てることができるという考え方。

	用語	内容
	フォローアップセンター	自宅療養者フォローアップセンター。都が令和２年11月に開設し、LINEを活用した健康観察や、自宅療養中に必要な食料品・パルスオキシメーターの配送など自宅療養者の支援を行っている。
	ふらっとなんぶ	令和５年３月20日に狛江市駒井町にオープンした多世代・多機能型交流拠点のこと。
	フレイル	直訳すると「虚弱」を意味する。年を取り段々と体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気にならないまでも手助けや介護が必要になるなど、心と体の働きが弱くなってきた状態を指す。
	プレコンセプションケア	若い世代（女性と夫・パートナー）のためのヘルスケアであり、現在のからだの状態を把握し、将来の妊娠やからだの変化に備えて、自分たちの健康に向き合うこと。
	ヘルマンさん	ヘルマン・ウォルシュケ氏の愛称。第一次大戦で日本軍の捕虜となり来日したが、大戦終戦後も日本に残り食肉加工技術を伝える。晩年狛江で過ごし、日本とドイツの交流懸け橋となる。
	ペロブスカイト太陽電池	「ペロブスカイト」と呼ばれる結晶構造を用いた日本発の太陽電池。薄い・軽い・柔軟性があるという特徴をもつ次世代型太陽電池のひとつ。
	放課後等デイサービス	支援を必要とする障がいのある子どもを、発達支援や居場所づくりを目的として放課後や休日、夏休みなどに預かる施設。
	法定外繰入	市の独自判断により財政の赤字補填や税率の増加抑制のために一般会計から繰入れる公費のこと。
	ほこみち	2020年11月25日に始まった「歩行者利便増進道路指定制度」の通称。道路の占用許可基準を柔軟にし、テーブルやベンチなどを置きやすくして、通りに賑わいを生むことを目的とするもの。
	ボラード	車止めとも呼ばれている。主に交差点などで、横断歩道との接続部や交差点の開口部に設置し、人的被害を防ぐことを目的としている。ボラードを設置することにより、万が一、車両が歩道に向かって進行した場合でも、車両の進入を防ぐ。
ま	**マイクロツーリズム**	自宅から1～2時間の距離の近場でおこなう旅行や観光のこと。
	マイナンバーカード2025年問題	マイナンバーカードに内蔵された電子証明書の有効期限が５年であることから、更新手続きが自治体の窓口に集中する事や、更新手続き忘れによりマイナ保険証やオンラインの各種手続きが使用できなくなるなどの混乱が予想される問題。

	用語	内容
	まちなかウォーカブル区域	都市再生整備計画区域内において、賑わい溢れるまちなかづくりに必要な施策を重点的に講じる区域として、市区町村が定めた地域。
	マルチコ運動	マルチコンポーネント運動。有酸素運動、筋力トレーニング、柔軟性運動、バランス運動などを組み合わせて行う運動のこと。
	ミライロＩＤ	株式会社ミライロが提供するスマートフォンアプリで、障害者手帳の情報を登録することで、手帳の代わりに利用できるデジタル障害者手帳。
	メタバース	コンピュータの中に構築された、3次元の仮想空間やそのサービスを指す。
	メディアリテラシー	次の３つを構成要素とする、複合的な能力のこと。 １メディアを主体的に読み解く能力。 ２メディアにアクセスし、活用する能力。 ３メディアを通じコミュニケーションする能力。特に、情報の読み手との相互作用的（インタラクティブ） コミュニケーション能力。
や	**ユマニチュード**	知覚・感情・言語による包括的なコミュニケーションに基づいたケア技法。
	夢育てメソッド	NPO法人ユメソダテが独自開発した障がいのある若者の認知機能と身体的成長を促すために開発したプログラム。
	余裕活用型	保育所等において、利用児童数が定員に達していない場合に、定員の範囲内で一時預かりとして受け入れる制度のこと。
ら	**ライフコースアプローチ**	胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくりのこと。
	ライドシェア	個人が自家用車を利用して有償で他人を運ぶ配車サービス。
	ランドセル症候群	体に合わない大きさ・重さのランドセルを背負ったまま長時間通学することで起こる、身体や心の不調を表す言葉。
	ランドスケープデザイン	屋外の風景や景観を設計・構築することであり、公共空間デザイン全般を指す。
	レスパイト	英語で「休息」「息抜き」を意味する事から、養育や介護を行う家族が一時的に養育や介護から離れて休息し、心身の疲れを取るための支援。